

令和7年度 第2回 南丹市市民参加と協働の推進委員会 議事録

日 時：令和7年8月7日（木）午前9時15分～午後12時15分

場 所：南丹市役所 3号庁舎 2階 第4会議室

出席者：〔委員〕金 祐榮委員長、西田 香代子副委員長、高橋 博樹委員、
米山 悟子委員、奥村 幸代委員、平井 静男委員
〔事務局〕岡部課長、北村課長補佐、大坪主事

1 開会

事務局	<p>定刻になりましたので、ただ今から南丹市市民参加と協働の推進委員会を開会いたします。</p> <p>本日の司会進行を務めさせていただきます地域振興課の岡部でございます。どうぞよろしくお願いいたします。委員のみなさまには、ご多用の中ご出席たまわりましたことに厚くお礼申し上げます。</p> <p>なお、本日は和辻委員がご都合が合わず欠席となっておりますので、ご報告いたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、金委員長からあいさつをいただきます。</p>
委員長	<p>本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからの進行については、進行の委員にお願いいたします。</p>

2 議題1 「南丹市まちづくり活動交付金のヒアリング審査」について

委員	<p>では、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>議題「南丹市まちづくり活動交付金のヒアリング審査」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、本日お世話になります、まちづくり活動交付金のヒアリング審査について、説明させていただきます。</p> <p>各団体の持ち時間は1団体あたり20分で、団体からの説明が5分、質疑応答が15分としております。</p> <p>本日ですが、美山竹部については、ご都合が合わず、欠席となっております。なお、ヒアリング審査に出席できない場合は不交付となること、今年度不交付となることで次年度以降申請ができないことについては、改めて確認を行い、了承されています。</p> <p>そのため、時間割を変更し、 9時30分より、1団体目（くらす） 10時より、2団体目（水車の郷かんだん倶楽部）のヒアリング審査を開始します。</p> <p>各団体へのヒアリング項目は、ヒアリング審査対象団体一覧表に記載のヒアリング項目のとおりです。</p> <p>団体からの説明、質疑応答が終わり次第、団体の方々には退出していただき、委</p>

	員の皆さままで交付・不交付の協議を行います。 ヒアリング審査について、事務局からは以上です。
委員	ヒアリング審査について説明がありましたが、質問やご意見はありますか。
委員	(特になし)
委員	では、いま確認しました内容で審査を進めることとします。 よろしくお願いします。
事務局	審査の間の進行は事務局が務めさせていただきます。 (ヒアリング審査・2団体実施) ①団体からの説明(審査員から出た意見について5分間) ②質疑応答(15分間) (団体退出) ③ヒアリングを通して評価決定(交付・不交付) 【審査結果】 交 付：2団体 ・水車の郷かんだん倶楽部(予算書の修正をもって交付) ・くらるす 不交付：1団体 ・美山竹部
事務局	ヒアリング審査についてお世話になり、ありがとうございました。 今回のヒアリング審査の結果や委員の方々から出た意見をまとめ、各団体へ後日通知いたします。また、申請書の修正が必要な団体には、修正後再提出していただきますので、再提出され次第、委員の皆様にも共有し、交付を決定することとしてよろしいでしょうか。
委員	※異議なし
事務局	ありがとうございます。審査については以上です。
委員	みなさま、審査お疲れ様でした。 では、続いて、議題2「市民参加と協働の実施計画」について、事務局から説明をお願いします。

3 議題2「市民参加と協働の実施計画」について

①令和6年度実績

事務局	<p>それでは「南丹市市民参加と協働の実施計画」についてご説明いたします。</p> <p>本計画は、市民が主体の魅力あるまちづくりを実現するため、市民と行政が共に考え、話し合える機会づくりや市民がまちづくりに参画するための情報をとりまとめて提供することを目的として策定しています。</p> <p>実施計画は3年間を計画期間としており、現在は、令和5年度から令和7年度を対象とした計画の期間に該当しています。計画期間の当初に3ヵ年計画を作成し、その後、単年度ごとに計画と実績を各課に照会して取りまとめ、本委員会にて報告を行うこととしています。</p> <p>今回は、令和6年度実績と令和7年度計画についての報告となります。</p>
-----	--

	<p>まずはじめに、令和6年度の実績についてです。各事業、左から順に、年度当初の計画、その計画に基づき実施した事業の実績を記載しています。主な変更点は、令和6年度南丹市市民参加と協働の実施計画 変更箇所一覧のとおりです。</p> <p>当初の計画から事業の大きな変更や中止はありませんが、計画時に随時実施としていた、3ページ目のパブリックコメント、4ページ目の市民ワークショップについては、各課から実施した旨、報告がありましたので、追記しております。また、5ページ目の審議会等附属機関一覧について、「南丹市男女共同参画社会推進委員会」の記載が漏れておりましたので、7ページに公募の実績と併せて追記しております。</p> <p>説明は以上です。本日いただいたご意見については、次年度以降の事業に活かせるよう、各課にフィードバックできればと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	事務局から報告がありました。みなさんのご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。
委員	審議会等における女性委員の割合について、割合の下にかっこ書きがあるものがないものがありますが、この違いは何でしょうか。
事務局	女性委員の割合については、令和7年3月31日時点の数値に更新しています。令和6年度当初から数値の変更があった審議会等については、参考として、かっこ書きで令和6年4月1日時点の数値を記載しています。
委員	公募を行っていない審議会等において、公募を導入していない理由を記載する欄に「専門性を有するため」と記載している審議会等がありますが、この「専門性」はどのようなものを指すのか、何をもって定義づけられているのかといった議論を昨年したかと思います。各課にはその後、確認いただいたのでしょうか。
事務局	昨年の委員会にて、資格や経験等、必要な専門性を満たす要件を設定したうえで公募することは可能であり、「専門性を有するため」という理由は公募を導入しない理由にはならないのではというご意見をいただきました。委員会でのご意見は各課に伝えており、令和7年度計画からは、専門性を有するためという記載はしないことを条件にし、各課に作成を依頼しています。
委員	色々な事業が記載されていますが、協働が進んでいるのかどうか、評価するのが難しいですね。何か指標があるとわかりやすいかと思います。私は、「協働」とは、市役所の職員の方が楽になったかどうかだと考えています。市民の皆さんが自分事として考え、自分で自分のまちを作るんだと積極的に取り組むことで、職員の方の負担が減り、その分、また別のことを考えることができます。思いつきですが、実績の記入と合わせて、各事業の担当者が楽になったかどうか、記入してもらうのも1つかと思います。
事務局	市民の方と一緒に事業に取り組むような部署は、「協働」に対してイメージができますが、部署によっては、なかなかできないところもあるかと思います。
委員	部署ごとに積極的に協働推進をする部署とそうでない部署を色分けしてしまうところから始めてもいいのではと思います。あるいは、協働がどれだけ推進しているかを見るため、実験的にサンプルの課を作っても良いかもしれません。経年変化を見ていかないと、計画を作成している意味がありません。
委員	私は今回、初めて計画を見たのですが、計画を読み取る意図が感じれなかったの

	<p>で、この計画がどういったものなのかなど、事前にもう少し説明が欲しかったです。</p> <p>私は日頃、市の職員の方が市民を大切に、とても気を遣われている姿を見ると、同じ市民なのに…と少ししんどく感じる場合があります。協働というのであれば、あまりへりくだったような対応もどうなのかと疑問に思います。市民への気遣いの目安みたいなものがあると、各部署にとっても、協働にチャレンジしやすくなるのかなと思います。</p>
委員	<p>協働というのは、市の職員と市民が対等な位置関係になれているのかも、基準だと思います。職員に、本当に楽になったかを聞きたいというより、楽になってもいいですよというメッセージを伝えるための質問という捉え方をしてほしいです。市民の方と対等な位置関係になれたかという質問でもいいですね。そういう考え方で仕事をしてほしいです。</p>
委員	<p>楽という言い方以外だと、負荷や業務ウェイトが軽くなったかどうかということでも良いかもしれません。</p>
委員	<p>ぜひ、どのような言い方にするか、検討いただければと思います。</p> <p>私は、旧美山町役場の職員と市民の皆さんは、かなり近い関係だったというイメージがあり、南丹市になった途端、市と市民という垣根ができたような気がしています。旧美山町のみんな仲間ですという感じが、本当は美しいまちなのではと感じています。</p>
委員	<p>私も美山町の振興会システムはとても良いシステムで、全国に広がったらいいなと思っています。誰に聞いたらいいのかわからないというような質問を、とりあえず聞けるという場があるのはすごく安心できるなと感じています。</p>
委員	<p>振興会について、親しみがなく、あまりイメージがわからないのですが…。</p>
事務局	<p>振興会は簡単に言うと、美山のなかで、旧村単位で支所があるというイメージです。振興会として維持していくために、各地域では、区費と同じように「振興会費」というものが各家庭から支払われています。園部や八木でも、振興会は作られていますが、各家庭から振興会費を集めて運営はされていません。美山では、支所まで遠い地域もあることから、住民票や証明書などは振興会の事務所で発行できます。振興会では、そのような支所的な役割を持ちつつ、振興会としての独自事業も実施されています。ただ、美山でやっていることを同じように他の地域でできるかと言われると、なかなか難しいと思います。</p>
委員	<p>会は作れても、どう運営していくのかという課題があります。会費を集めるのか、補助金を活用するのか、自分たちで稼ぐのかなど、色んな方法が考えられます。「小規模多機能自治」といいますが、自治会機能だけではなく、色んな機能をそこで果たしましょうというような仕組みで、全国的にも広まってきています。</p>
委員	<p>小規模多機能自治は素晴らしい組織ですが、きつく言えば、地域も続けていくために覚悟を持つ必要があります。なかなか簡単にはいかないところです。</p>
委員	<p>協働を考える上で、ある意味、教育が必要と感じています。市の職員には、市民ともっと近づいていくという方向性をメッセージとして伝えたいですし、市民の皆さんには、自分で自分のまちを作りましょうという教育が必要だと思っています。まちづくり活動交付金に関しても、その一環だと考えています。今回の審査に関しても、そういった教育の場になればと思っています。</p>

	この計画を見たときに、協働がどれだけ進んでいるのか、前進しているのかどうかはわかればと思います。質問を通じて、どれだけ進んでいるかの評価ができる、それと同時に、質問を通じて、各課へのメッセージになったらいいなと思います。
委員	そのほか、ご意見等ありますでしょうか。 他にご意見等なければ、次に令和7年度計画について、事務局から説明をお願いします。

②令和7年度計画

事務局	<p>続いて、令和7年度の実施計画について、報告させていただきます。</p> <p>昨年度末に実施した委員会にて、各課から報告のあった令和7年度に実施予定の事業の計画について、報告をさせていただきました。実施内容や実施時期の変更など、変更点は令和7年度南丹市市民参加と協働の実施計画 変更箇所一覧にまとめておりますので、ご確認ください。</p> <p>また、本委員会にて、審議会等における公募委員の導入についてご意見をいただいております。昨年度には、市民の声を取り入れるため、審議会等において公募委員を積極的に導入するよう、本委員会から市長あてに提言が提出されています。昨年度末の委員会では、公募を導入していない審議会のうち、非公開の審議会以外（13ページから20ページに記載の委員会）を今後のターゲットとし、公募委員が積極的に導入されるよう、呼びかけていくという方向性を話し合ったところです。委員会後、ターゲットとした審議会を担当する各課に、公募委員の導入について、再度検討いただくよう、説明に回りました。その結果、12ページに記載の「南丹市放課後児童健全育成事業運営委員会」については、公募を実施していない審議会から、公募を検討中の審議会に変更しています。また、一部、公募を導入していない理由を変更した課もありましたので、赤字にて変更をしております。</p> <p>以上、変更点を中心にご確認いただければと思います。</p> <p>また、本計画は、来年度から新たな計画期間に入るため、今年度中に各課に令和8年度から令和10年度の3年間の計画について、照会・取りまとめし、委員会にて報告をさせていただく予定です。次期3カ年の計画作成に向けてのご意見を中心に伺えればと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	事務局から報告がありました。みなさんのご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。
委員	次期3カ年計画に向けて、協働推進しやすい課とそうでない課で色分けしても良いのではと思います。もしくは、推進を積極的に進めるモデルとなる課を決めるのも1つかと思います。課の振り分けは、協働推進しやすいかどうか、協働推進していきたいかどうかを聞いて、各課にて判断してもらってはどうかでしょうか。
事務局	協働推進しやすいかどうかは各課の担当業務である程度判断できるかと思いますが、積極的に協働推進していきたいかどうかは、担当者や担当部署の所属長の考えなどで変わってしまうかと思います。
委員	昨年、本委員会から市長宛てに、提言書を提出したことにより、目に見えた変化は少ないかもしれませんが、少しずつ変わってきている部分はあります。粘り強く、各課に呼びかけていくしかないと思います。

委員	市民参加と協働の推進をしていくことの必要性や重要性、また、推進することでまちづくりにどのように活かされていくのかについて、一度詳しい方を招いて、職員向けの講演会などを行ってみてはどうでしょうか。
事務局	テダスさんが色んな場所で協働に関するセミナーや研修などを実施されていることもあり、南丹市での研修実施についてもご提案をいただき、職員研修担当の人事課にもその旨伝えてあります。今年度は研修の計画がすでに決定しており、予算的にも厳しいため、実施は難しいですが、人事課とも調整しながら進められればと思います。
委員	計画に関しては、変更点は赤字箇所を見てわかりますが、どうすれば進度がわかるのか、この委員会で検討を進めたいです。
事務局	「市民参加と協働の実施計画」についてですが、例年、各課から報告のあった次年度の計画を取りまとめて、年度末の委員会にて報告をしています。ただ、本日、協働の推進について、協働が推進しているのかの評価が難しいというご意見もあり、次年度以降の3ヵ年計画作成に向けた話し合いの場が必要かと考えますがいかがでしょうか。
委員	次年度以降の計画に向けて、再度話し合いをしたいと思います。 ※日程調整の結果 次回 10月10日（金）14時～に決定 予定しておりました内容については以上ですが、全体を通して他にご意見などはありませんか。 特にご意見がなければ事務局へお返しします。

4 閉会

事務局	本日は、貴重なご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。 本日のご意見を踏まえ、さらに市民活動が活発化するような取り組みを進めてまいります。 それでは、以上をもちまして、南丹市市民参加と協働の推進委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。
-----	---